

平成27年度 第16回 役員会 議事要旨

日 時 平成27年10月14日(水) 10時30分～11時45分
場 所 学長室
出席者 学長, 滝澤理事, 門出理事, 後藤理事, 吉田理事
陪席者 佐々木監事, 北村監事, 只木学長補佐(評価室長)

【 審議事項 】

- (1) 平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)に対する意見の申立てについて

後藤理事から, 本件は, 平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)に対する意見の申立てについて審議するものである旨説明があった。

次いで, 只木評価室長から, 国立大学法人評価委員会の「業務運営・財務内容等の状況」に係る4項目は全て「順調」の評価を得ており, 平成25年度に課題として指摘された教員個人宛の寄附金の個人経理, 個人情報の不適切な管理については改善が認められた旨説明があった。評価室による分析をもとに「注目」された事項について, また, 国立大学病院管理会計システム(HOMAS)の利用における課題が, 本学以外の多数の大学も指摘された旨の説明があった。

学長から, 評価結果(原案)に事実誤認等は見当たらないため, 意見の申立ては行わず, 軽微な字句修正を求める旨の説明があり, 審議の結果, 了承された。

- (2) 佐賀大学プロジェクト研究所の設置期間の更新認定について

門出理事から, 3年間の設置期間が満了した「茶の文化と科学研究所」, 「人口頭脳医科学シナジー研究所」の2つのプロジェクト研究所について, 活発に活動し外部資金を獲得していることから総合戦略会議において更新を了承した旨の説明があり, 審議の結果, 了承された。

- (3) 平成27年度(第2次)佐賀大学プロジェクト研究所の認定について

門出理事から, 平成27年度の二次募集を行ったところ, 「発達障害支援研究所」の申請があり, 総合戦略会議において了承した旨説明があった。

学長から, 発達障害支援に関しては, すでに文部科学省の大学間連携共同教育推進事業として, 平成28年度まで「大学間発達障害支援ネットワークの構築と幼保専門職業人の養成」が採択されており, その延長上に平成29年度からCOC+事業「さが地方創生人材育成・活用プロジェクト」が採択されているが, 今から大型予算を獲得していくためのプロジェクト研究所を重複して設置するのはなぜか, 研究協力課で把握いただきたい旨発言があった。

門出理事から、研究員は全員文化教育学部所属であるが、研究代表者は附属特別支援学校の校長であり、将来的には附属学校の教員もチームとなり連携をとるとの発言があり、審議の結果、了承された。

(4) その他 特になし。

【協議事項】

(1) 寄付講座の設置（更新）について

門出理事から、社会医療法人雪の聖母会から寄附講座「先進外傷治療学講座」の設置（更新）について申込があり、寄附金額は5年間で1億5千万円、主に3名の教員を採用予定である旨説明があった。次いで学長から経緯の紹介があり、協議の結果了承され、直近の教育研究評議会、及びその後の役員会で審議することとなった。

(2) その他 特になし。

【報告事項】

(1) 名誉教授称号授与について

人事課長から、学長が名誉教授に推薦した前学長・理事について、役員会報告後、直近の教育研究評議会において選考を実施し、平成27年10月1日付で授与する予定である旨報告があった。

(2) 平成27年度就職内定状況について

就職支援課長から、平成27年10月1日現在の就職内定率は、昨年と比較して学部合計3.7ポイント減、大学院8.9ポイント減、総計4.1ポイント減であり、その理由としては、就職活動の後ろ倒しによる影響が考えられる旨報告があった。また、内定を得た学生がシステムに入力していないことも考えられ、引き続き、学部の就職委員を通して指導教員へ依頼する旨発言があった。

内定状況の表の「その他・不明」の欄の不明者は0であることから、「不明」の文言を削除することとし、申し合わせにより10月1日現在の就職内定状況を報道発表しているが、就職活動後ろ倒しの影響で正確な現状を把握できないため、今回は発表せず、確実な分析後に行うこととなった。

(3) その他 特になし。

【その他】 特になし。

以上